



令和6(2024)年度
とちぎの元気な森づくり県民税事業
評価報告書

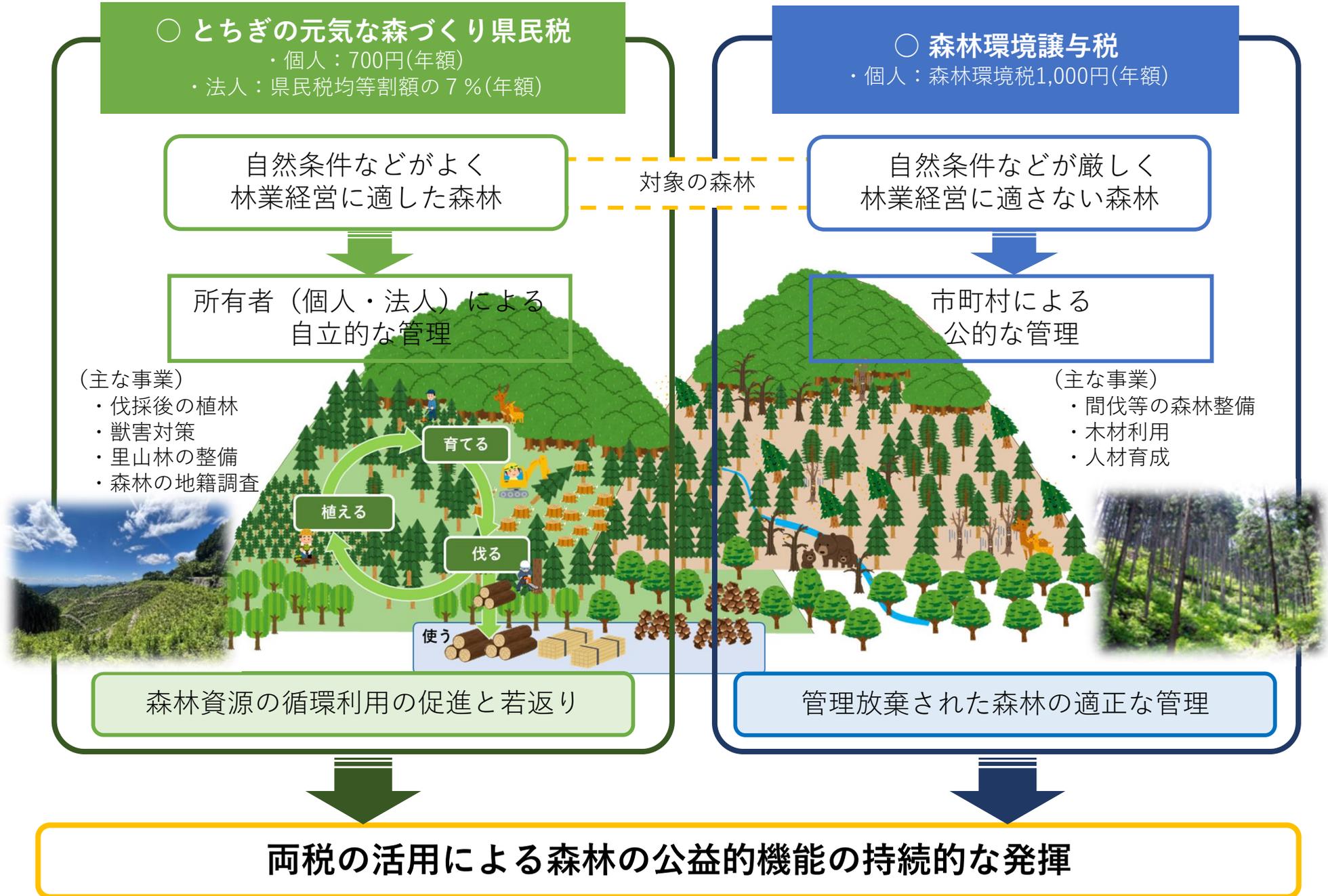
令和7(2025)年 12月
とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会

目次

1	とちぎの元気な森づくり県民税と森林環境譲与税による森林整備の取組	2
2	とちぎの元気な森づくり県民税事業の実績	3
(1)	基金及び財源	3
(2)	各事業の実施状況	4
ア	とちぎの元気な森づくり未来の森整備事業	4
イ	とちぎの元気な森づくり里山林整備事業	6
ウ	とちぎの元気な森づくり森林所有対策事業	8
エ	とちぎの元気な森づくり県民会議等事業	9
オ	とちぎの元気な森づくり地域活動支援事業	9
カ	各事業の実施状況一覧	10
(3)	森林の若返りと公益的機能の効果	11
ア	森林の若返りの実績	11
イ	森林の若返りによる公益的機能の効果	12
3	森林環境譲与税の実績	13
(1)	森林環境譲与税の執行状況	13
(2)	森林環境譲与税事業の実施状況	14
4	評価結果	16
(1)	両税の一体的評価	16
(2)	とちぎの元気な森づくり県民税事業の評価	16
ア	とちぎの元気な森づくり未来の森整備事業	16
イ	とちぎの元気な森づくり里山林整備事業	17
ウ	とちぎの元気な森づくり森林所有対策事業	17
(3)	森林環境譲与税事業の評価	18
(4)	使途（取組内容）・両税の事業一覧	19
(参考)	県民意識調査結果	20
○	とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会委員名簿	21

1 とちぎの元気な森づくり県民税と森林環境譲与税による森林整備の取組

【両税を活用した森林整備イメージ】



2 とちぎの元気な森づくり県民税事業の実績

(1) 基金及び財源

ア とちぎの元気な森づくり基金の状況

(単位：千円)

令和5年度末残高 A	積立額 B	取崩額 C	令和6年度末残高 A + B - C
1,480,112	994,133	1,037,385	1,436,860

【積立内訳】

(単位：千円)

区分	R5(2023)	R6(2024)	増減
とちぎの元気な森づくり県民税 税込相当額等	900,177	889,667	▲ 10,510
寄附金	5,059	103,751	98,692
返還金	338	153	▲ 185
利子	55	562	507
計	905,629	994,133	88,504

イ とちぎの元気な森づくり事業

1,816,152 千円

【財源内訳】

とちぎの元気な森づくり基金繰入金

1,037,385 千円

国庫補助金等

778,767 千円

※金額は千円単位四捨五入のため内訳が合わない場合がある

(2) 各事業の実施状況

ア とちぎの元気な森づくり未来の森整備事業

◆ 事業実績

事業量	整備面積	433 ha	※植栽面積
事業費		1,545,401 千円	(うち県民税 845,621 千円)

◆ 事業内容

(ア) 再造林・樹種転換促進事業 (国庫補助事業の施行地を含む)

① 造林事業

針葉樹の皆伐後の地拵え、植栽、下刈りを行い、再造林及び、広葉樹への樹種転換を進めました。

区分	面積	市町
地拵え、植栽	433ha	15市町
下刈り	1,660ha	16市町

② 路網整備事業

植栽を行うための作業道を開設し、植栽後の下刈りなどの保育管理にも活用しました。

区分	事業量	市町
森林作業道	55,766m	8市町

③ 獣害対策促進事業

植栽した苗木への薬剤の散布等によりシカからの食害を防止しました。また、成木の幹にネットを巻いてクマ等による皮剥き被害を防止しました。

区分	面積	市町
食害対策	567ha	10市町
剥皮対策	321ha	3市町

(イ) 次世代林業技術検証事業

低コスト林業のための大苗木植栽等の検証を行いました。

(ウ) 事業推進費

事業施行に必要な審査等を行いました。

① 造林事業



③ 獣害対策促進事業



イ とちぎの元気な森づくり里山林整備事業

◆ 事業実績

事業量	1,964 ha	〔	整備面積	584 ha	〕
			管理面積	1,380 ha	
事業費	155,203 千円		(うち県民税		95,923 千円)

◆ 事業内容

(ア) 里山林整備事業

① 地域で育み未来につなぐ里山林整備事業

地域の提案による里山林の整備を通じ、継続的な管理や活用を支援しました。

② 通学路等の安全・安心のための里山林整備事業

通学路等に隣接する里山林の見通しを確保するため、安全・安心な環境づくりを支援しました。

③ 野生獣被害軽減のための里山林整備事業

野生獣被害の軽減のため、田畑に隣接する里山林の整備・管理に対して支援しました。

④ 森林・山村多面的機能発揮対策事業

森林の多面的機能を発揮させるため、里山林の保全・整備、地域活性化への取組に支援しました

(イ) 里山林管理事業

第1期(平成20～29年度)及び第2期(平成30年度～)で整備した里山林の管理活動に対し支援しました。

区 分	面 積	市 町
(1)里山林整備事業	584ha	18市町
① 地域で育み未来につなぐ里山林整備事業	68ha	14市町
② 通学路等の安全・安心のための里山林整備事業	9ha	3市町
③ 野生獣被害軽減のための里山林整備事業	117ha	9市町
④ 森林・山村多面的機能発揮対策事業	390ha	15市町
(2)里山林管理事業	1,380ha	15市町
計	1,964ha	21市町

※ 面積は、四捨五入のため内訳と計が一致しないことがある

※ 市町計は、実市町数

① 地域で育み未来につなぐ里山林整備事業



② 通学路等の安全・安心のための里山林整備事業



③ 野生獣被害軽減のための里山林整備事業

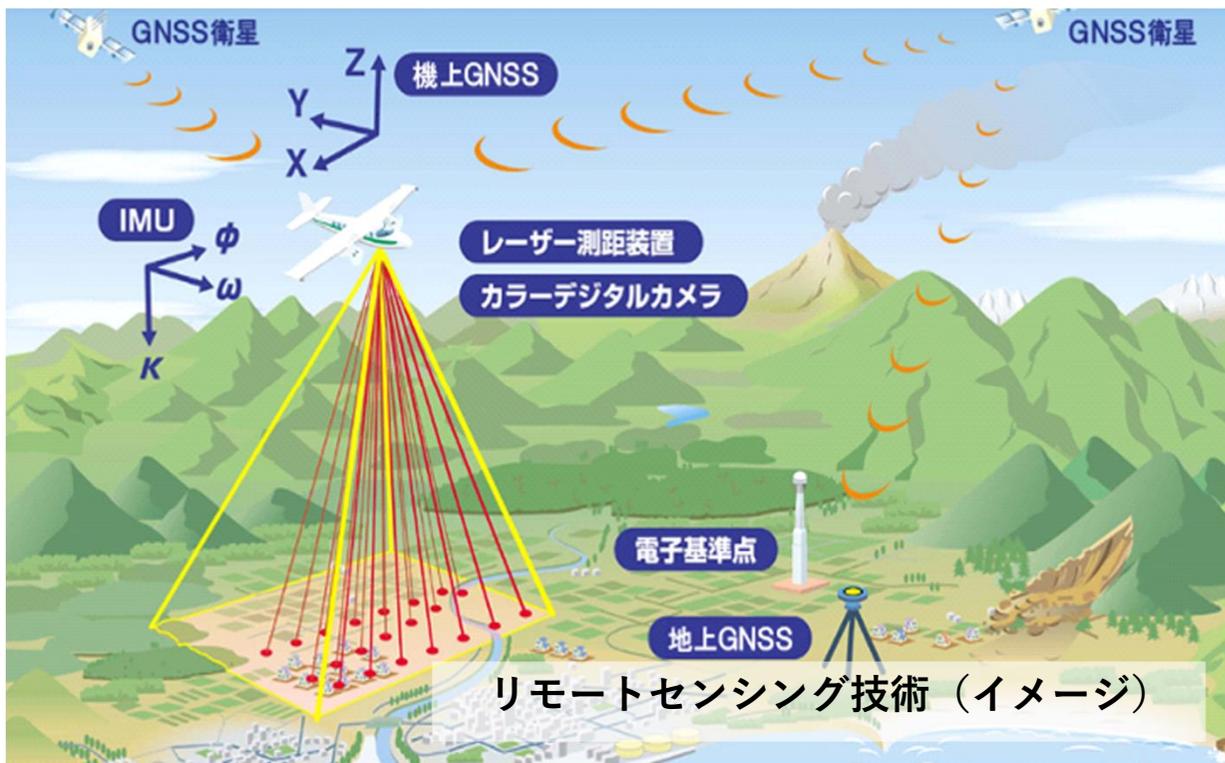


◆ 事業実績

事業量	地籍調査	780	ha (2	市町)
事業費		97,789	千円 (うち県民税		78,083 千円)

◆ 事業内容

境界等の不明確な森林について、栃木県森林組合連合会によるリモートセンシング技術（航空レーザ計測）を活用した地籍調査（780ha … 2市町：足利市、鹿沼市）に対し、支援しました。



エ とちぎの元気な森づくり県民会議等事業

◆ 事業実績

事業量	新聞等広告	5 件
事業費		6,605 千円

◆ 事業内容

(ア) とちぎの元気な森づくり県民会議事業

県民協働の森づくりの推進母体である「とちぎの元気な森づくり県民会議」の活動を支援しました。

- ・とちぎの元気な森づくりキャンペーンの開催
- ・木工工作コンクールの開催 等



キャンペーンポスター



キャンペーン景品



木工工作コンクール
(審査会)

(イ) とちぎの元気な森づくり普及啓発事業

県民税事業の成果等について新聞広告等とおして普及啓発等を行いました。

区分	回数
新聞広告	2 件
テレビ広告	1 件
ラジオ広告	1 件
コンビニ広告	1 件
計	5 件



新聞広告

オ とちぎの元気な森づくり地域活動支援事業

◆ 事業実績

事業量	1 式
事業費	11,154 千円

◆ 事業内容

(ア) 森づくりサポート事業

里山林等の持続的な保全のための森林ボランティアの育成・確保等に取り組みました。

- ・森づくり活動に関する情報の収集・発信
- ・森林サポーター（森林ボランティア）の募集登録
- ・ボランティア活動に必要な資機材の貸し出し
- ・里山林整備の人材育成講座の開催（とちぎ里山塾）
- ・企業等による森づくりの活動支援（森づくりコミッション）
- ・企業と森づくり活動団体とのマッチング（とちぎ地域・森づくりフォーラム）



とちぎ里山塾
(座学研修)



とちぎ里山塾
(竹活用現場研修)

カ 各事業の実施状況一覧

事業区分	計 画			実 績		
	事業量	事業費		事業量	事業費	
		(千円)	うち県民税		(千円)	うち県民税
1 とちぎの元気な森づくり未来の森整備事業	790ha	1,577,635	981,461	433ha	1,545,401	845,621
(1) 再造林・樹種転換促進事業	790ha	1,467,792	871,618	433ha	1,435,536	735,756
(2) 次世代林業技術検証事業	1式	95,429	95,429	1式	94,571	94,571
(3) 事業推進費	1式	14,414	14,414	1式	15,294	15,294
2 とちぎの元気な森づくり里山林整備事業	2,742ha	253,430	160,820	1,964ha	155,203	95,923
(1) 里山林整備事業	1,042ha	168,430	75,820	584ha	81,242	26,949
(2) 里山林管理事業	1,700ha	85,000	85,000	1,380ha	73,961	68,973
3 とちぎの元気な森づくり森林所有対策事業 ※	780ha	154,969	128,076	780ha	97,789	78,083
(1) 森林組合等地籍整備事業（地籍調査補助）	519ha	48,174	21,281	519ha	35,296	15,590
(2) 森林組合等地籍整備事業（地籍調査単独）	261ha	106,795	106,795	261ha	62,494	62,494
4 とちぎの元気な森づくり県民会議等事業	-	7,016	7,016	-	6,605	6,605
(1) とちぎの元気な森づくり県民会議事業	1式	748	748	1式	748	748
(2) とちぎの元気な森づくり県民普及啓発事業	1式	6,268	6,268	1式	5,857	5,857
5 とちぎの元気な森づくり地域活動支援事業	-	11,264	11,264	-	11,154	11,154
(1) 森づくりサポート事業	1式	11,264	11,264	1式	11,154	11,154
計		2,004,314	1,288,637		1,816,152	1,037,385

※事業量については、新規着手面積を記載。

(3) 森林の若返りと公益的機能の効果

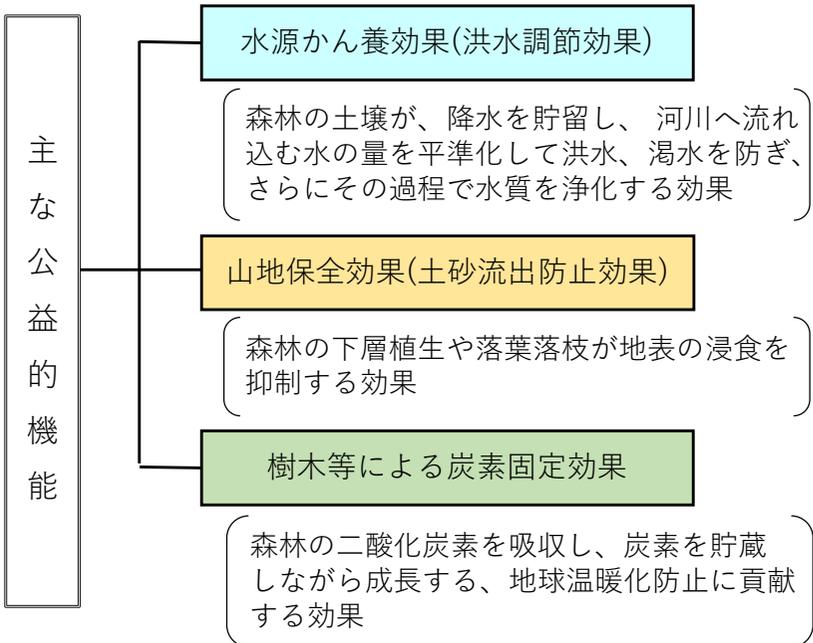
ア 森林の若返りの実績

10年間の計画6,000haのうち、令和6(2024)年度は433haの森林の若返り(植栽)を実施

区 分	事業量	
	計画 a	実績 b
森林の若返り(植栽)	790 ha	433 ha
累計(7年目/10年)	3,622 ha	2,745 ha

- ① 年度事業の実行率 (b/a) 54.8%
- ② 森林の若返りの目標達成度 (b(累計)^{*}/6,000) 45.8% 《※10年中7年目累計》
- (b(累計)/a(累計)^{*}) 75.8% 《※10年中7年目までの目標累計》

イ 森林の若返りによる公益的機能の効果

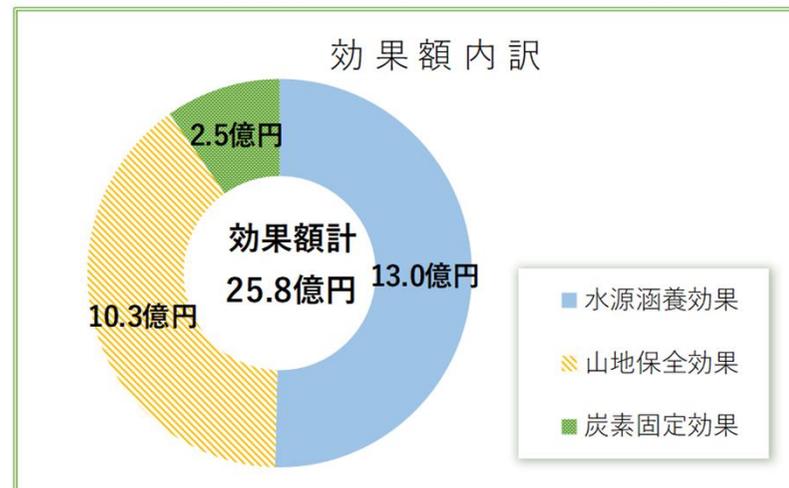


令和6(2024)年度に森林の若返り(植栽)を433ha実施しました。



植栽

事業実施後、60年間(※)に25.8億円の効果が発揮されます。(※スギ林が更新を行うまでの期間：公共事業の評価準用)



効果額の算定は「林野公共事業における事業評価マニュアル」による

イ 森林の若返りによる公益的機能の効果

主な公益的機能の効果

水源かん養効果（洪水調節効果）

森林の若返り433haでは、雨水を地中に浸透させ、大雨の時間当たり約33,000m³の水の流出を調節

33,000 m³：学校のプール約81個分

※ 学校の25mプールは約400m³

1時間あたりプール約81個分にあたる水の流出を調節する働きが高まりました

60年間の効果額：13億円
(効果を治水ダムの年間減価償却費で計算)



山地保全効果（土砂流出防止効果）

森林の若返り433haでは、年間約6,400m³の土砂流出を防止

6,400m³：大型ダンプ約1,200台分

※ 森林整備保全事業標準歩掛
：10tダンプの土砂積載量は1台当たり5.3m³

年間大型ダンプ約1,200台分の土砂流出を防止する働きが高まりました

60年間の効果額：10.3億円
(効果を砂防ダムの建設コストで計算)



樹木等による炭素固定効果

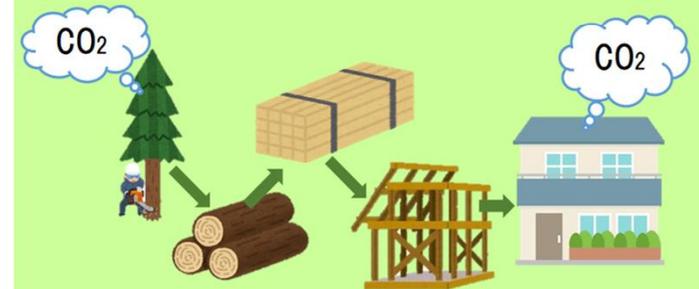
森林の若返り433haでは、CO₂換算で年間約1,600tCO₂の炭素が森林に固定

一般家庭約400世帯が
1,600 tCO₂：年間に排出する
二酸化炭素

※ 温室効果がスイハントリオフィス：1世帯が年間に排出するCO₂は3,971kgCO₂（2019）

毎年、一般家庭約400世帯が排出する炭素を森林に固定する働きが高まりました

60年間の効果額：2.5億円
(効果を二酸化炭素排出量取引価格で計算)



3 森林環境譲与税事業の実績

森林環境税・森林環境譲与税の概要

平成31(2019)年3月に「森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律」が成立し、森林環境税及び森林環境譲与税が創設された。森林環境税は、令和6(2024)年度から、個人住民税均等割の枠組みを用いて、国税として1人年額1,000円が賦課徴収され、森林環境譲与税は、市町村による森林整備等の財源として、令和元(2019)年度から市町村と都道府県に対して私有林人工林面積、林業就業者数及び人口による客観的な基準で譲与されている。

森林環境譲与税は、市町村においては、間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の「森林整備及びその促進に関する費用」に、都道府県においては「森林整備を実施する市町村の支援等に関する費用」に充てるものとされている。

本税により、これまで手入りが十分に行われてこなかった山村地域の森林整備が進展するとともに、都市部の市区等が山村地域で生産された木材を利用することや、山村地域との交流を通じた森林整備に取り組むことで、都市住民の森林・林業に対する理解の醸成や、山村の振興等につながることを期待される。

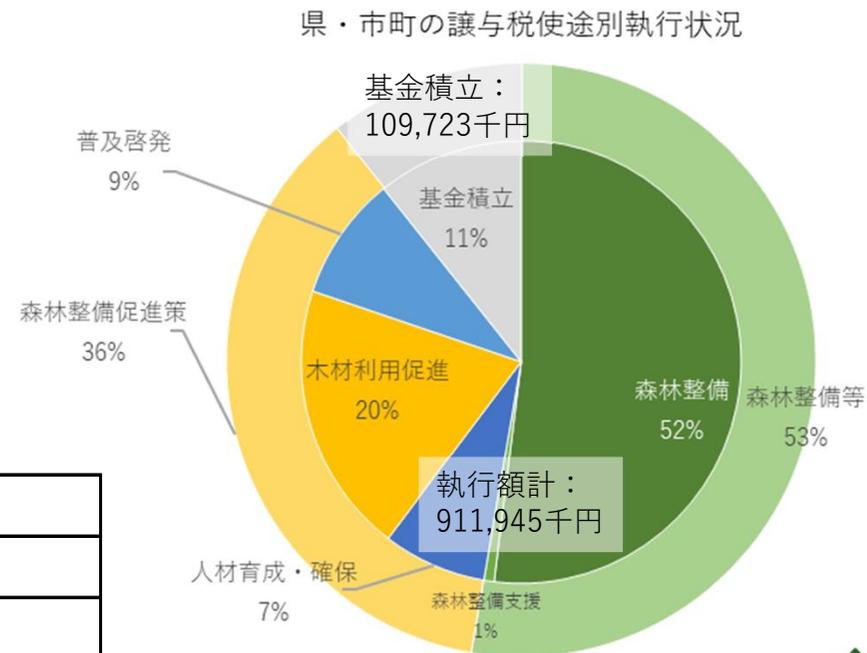
参考) 林野庁ホームページ

(1) 森林環境譲与税の執行状況

	譲与額 A	執行額 B	差額(基金積立) A-B	割合 B/A
県	102,166 千円	76,951 千円	25,215 千円	75.3 %
市町	919,502 千円	834,994 千円	84,508 千円	90.8 %
計	1,021,668 千円	911,945 千円	109,723 千円	89.3 %

県	森林整備促進		人材の育成・確保や木材利用・普及に活用(栃木県林業大学校運営費等)
市町	森林整備	18 市町	森林経営管理法等に基づく市町村自らによる森林整備に活用
	森林整備促進	20 市町	人材の育成・確保や木材利用・普及に活用

※市町の基金積立金執行方針…複数目的で積み立てている市町もあるため、計25市町とならない



(2) 森林環境譲与税事業の実施状況

県事業 譲与額 102,166 千円

区分	金額	譲与額に占める割合
市町への森林整備支援	7,651 千円	7.5 %
実践型活動支援事業費（市町職員への研修等）	2,035 千円	2.0 %
森林情報共有化推進事業費（森林クラウドシステムの運用等）	5,616 千円	5.5 %
森林整備促進策	69,300 千円	67.8 %
人材の育成・確保（林業大学校運営費等）	48,660 千円	47.6 %
木材利用促進（木造・木質化への支援等）	20,640 千円	20.2 %
計	76,951 千円	75.3 %

市町への森林整備支援 実践型活動支援



個別相談会

森林経営管理制度等を適切に運用するため、市町職員に対して研修と個別相談会を実施

現地研修

森林整備促進策 人材の育成・確保

令和6(2024)年4月に開校した栃木県林業大学校において、高校生から林業経営者までを対象とした8課程を運営。就業前長期課程の第一期生21名全員が県内の林業経営体等に就職



実習の様子(高性能林業機械)

就業前長期課程 第一期生



林業大学校 卒業式



森林整備促進策 木材利用促進

県民の皆様に対し、木材の理解・利用促進を図るため、民間施設の木造への転換及び内装の木質化を支援



事務所



飲食店

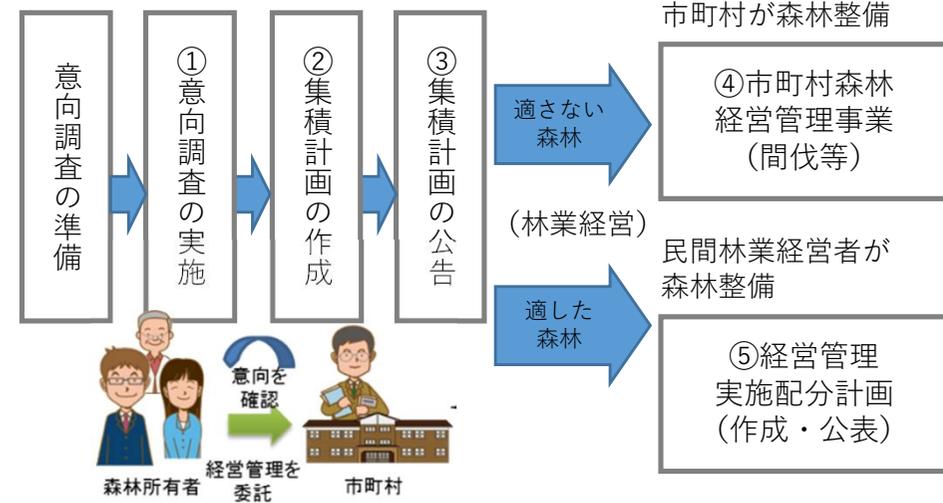
(2) 森林環境譲与税事業の実施状況

市町事業

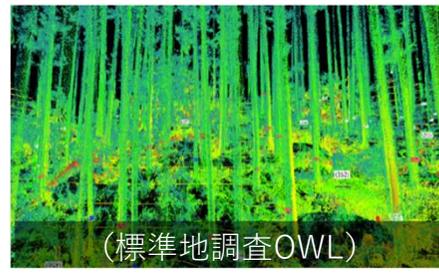
譲与額 919,502 千円

区分	市町数	金額	譲与額に占める割合
間伐等の森林整備	23 市町 92 %	530,910 千円	57.7 %
うち	11 市町 44 %		
森林経営管理制度	9 市町 36 %		
市町村森林経営管理事業	12 市町 48 %		
森林整備促進策	24 市町 96 %	304,084 千円	33.1 %
人材の育成・確保	16 市町 64 %	29,129 千円	3.2 %
木材利用促進	13 市町 52 %	181,992 千円	19.8 %
森林整備の普及啓発	20 市町 80 %	92,963 千円	10.1 %
計	25 市町 100 %	834,994 千円	90.8 %

～ 参考：森林経営管理制度の流れ～



間伐等の森林整備 森林経営管理制度等



森林経営管理制度に基づく集積計画の作成



ナラ枯れ被害木の伐倒・立木くん蒸等を実施

森林整備促進策 人材の育成・確保



スマート林業技術の導入を支援し、現場の生産性・安全性を向上することにより、森林整備を促進

森林整備促進策 木材利用促進



町産出材を一部活用し、道の駅レストランの木質化や水車の取替えを実施

4 評価結果

(1) 両税(とちぎの元気な森づくり県民税・森林環境譲与税)の一体的評価

「とちぎの元気な森づくり県民税事業」と「森林環境譲与税事業」の透明性・公平性を確保するため、令和6(2024)年度事業の執行状況を確認したところ、本県の森林・林業の課題に対応し、適正に実施されていた。

特に「とちぎの元気な森づくり県民税事業」については、森林の若返りをはじめ、各事業が適正かつ着実に実施され、本県森林の公益的機能の維持増進に効果を発揮した。

(2) とちぎの元気な森づくり県民税事業の評価(取組状況及び所見)

ア とちぎの元気な森づくり未来の森整備事業

取組状況	<p>○計画 790ha 実績 433ha (前年度 486ha) 実施率55% (前年度74%)</p> <ul style="list-style-type: none">・実施面積については前年を下回ったものの、樹木等による炭素固定効果など公益的機能の維持・増進のための森林の若返りが進められた。・森林の若返りを進める上で課題となっている獣害や労働力不足について、地域の特性に応じた対策や大苗木植栽等の検証に取り組んでいる。
所見	<ul style="list-style-type: none">・実施面積が伸び悩んだ要因として、累積する下刈りや獣害対策による労働力不足や、人件費・資材単価の上昇等が挙げられるため、これらの変化に対応しつつ、森林の若返りを効率的に進めていくこと。・計画達成に向けて森林の若返りを促進する必要があるため、施行地の集約化の促進や新たな造林・保育技術の検証等に取り組み、労働生産性の向上を図ること。・獣害の多い地域における皆伐・再造林については、地域の特性に応じた獣害対策への支援を行うこと。

4 評価結果

イ とちぎの元気な森づくり里山林整備事業

取組状況	<p>○整備：計画 1,042ha 実績 584ha（前年度 711ha） 実施率56%（前年度67%）</p> <ul style="list-style-type: none">・整備の実績については、里山林の整備の活動に係る担い手の高齢化や後継者不足により、前年を下回った。 <p>○管理：計画 1,700ha 実績 1,380ha（前年度 1,327ha） 実施率81%（前年度78%）</p> <ul style="list-style-type: none">・管理の面積については、中間見直しにより支援期間を延長したことで、団体の活動意欲が維持されたことから、前年と同水準であった。
所見	<ul style="list-style-type: none">・里山林の整備・管理は一定の成果が見られているものの、依然として地域の担い手不足が課題であることから、森づくりサポート事業による里山塾や森づくりフォーラムの開催などを通じて、担い手の確保・育成や森づくり団体の活動意欲を高める支援を行うこと。・市町との連携による新たな整備箇所や活動団体の掘り起こしを強化すること。・ホームページやSNSなどを活用して、幅広い世代に向けて活動内容などの情報発信をより一層強化すること。

ウ とちぎの元気な森づくり森林所有対策事業

取組状況	<p>○計画 780ha 実績 780ha（前年度 387ha） 実施率100%（前年度100%）</p> <p>地籍調査に航空レーザ計測等のデジタル技術を活用することにより計画的に進んでいる。</p>
所見	<p>引き続き、デジタル技術を活用することにより業務の効率化を図り、地籍調査を円滑かつ迅速に推進すること。</p>

4 評価結果

(3) 森林環境譲与税事業の評価（取組状況及び所見）

森林環境譲与税については、本県の森林・林業における課題に対応した取組内容となっており「森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律」第34条の使途の範囲内及び令和元（2019）年度の使途の整理に基づき、適切に実施されていた。

取組状況	県	○R6譲与額 102,166千円 実績 76,951千円（前年度 195,615千円） 執行率75%※（前年度201%） ・市町支援のため研修会や個別相談会の開催、森林クラウドの運営に加え、本県林業人材の確保・育成の中核を担う栃木県林業大学校の運営などに活用され、前年度より執行額は下がったものの、執行率は約8割となった。
	市町	○R6譲与額 919,502千円 実績 834,994千円（前年度 606,848千円） 執行率91%※（前年度85%） ・森林経営管理制度に係る間伐や公共建築物への木材利用などに活用されたことから、前年度より執行額及び執行率は上昇した。
所見	・市町の執行額及び率は上昇しているものの、より一層の取組を進めるにあたり、専門的な職員の不在やマンパワー不足など個別の課題が生じていることから、県では、引き続き研修会や相談会の開催、森林クラウドの運営など、地域の実情に応じた支援を行うこと。	

※執行率については、R6年度の実績額÷R6年度の譲与額で算出。

4 評価結果

(4) 用途（取組内容）・両税の事業一覧

取組内容			県民税事業	森林環境譲与税事業	
				県事業	市町事業
森林整備	経営林	皆伐・再造林の促進 (未来の森整備)	540,889 千円	-	-
		獣害対策 (未来の森整備)	304,732 千円	-	-
		地籍調査 (森林所有対策)	78,083 千円	-	-
	非経営林	間伐等の森林整備	-	-	24 市町 510,308 千円
	里山林整備	市町	-	-	4 市町 20,602 千円
		団体	95,923 千円	-	-
森林促進整備	人材の確保・育成		-	48,660 千円	16 市町 29,129 千円
	木材利用促進		-	20,640 千円	13 市町 181,992 千円
	森づくりに関する普及啓発		-	0 千円	20 市町 92,963 千円
	県民税のPR等		17,758 千円	-	-
市町の森林整備支援			-	7,651 千円	-
計			1,037,385 千円	県・市町計 911,945 千円	

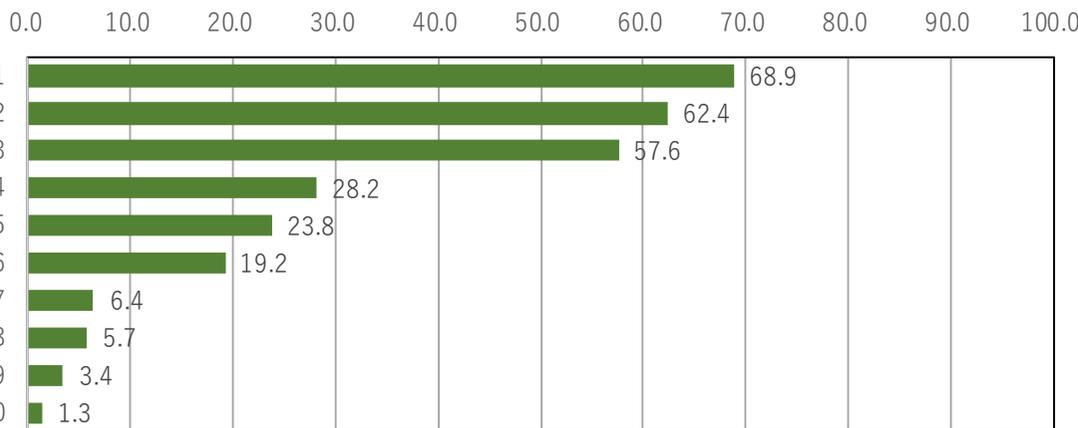
(参考) 県民意識調査結果

【森林の重要なはたらき】

森林には、様々な働きがあります。あなたが、特に重要だと考える森林の働きはどれですか。

次の中から3つまで選んでください。 [n=1,492]

	R 7 %	(R 6)
1 <u>山崩れなどの災害を防止する働き</u>	68.9	(62.9)
2 <u>二酸化炭素を吸収し、地球温暖化を防止する働き</u>	62.4	(60.6)
3 <u>雨水を蓄え、洪水や渇水を防ぐ働き</u>	57.6	(55.9)
4 多様な生物の生育・生息の場としての働き	28.2	(24.1)
5 自然に親しみ、人の心を和ませ安らぎを与える働き	23.8	(23.4)
6 空気をきれいにしたり、騒音を和らげるなど環境を快適に保つ働き	19.2	(20.6)
7 自然と人との関わりを学ぶなどの教育の場としての働き	6.4	(7.2)
8 生活に必要な木材や燃料チップ、きのこなどを供給する働き	5.7	(6.8)
9 わからない	3.4	(4.4)
10 無回答	1.3	(1.7)



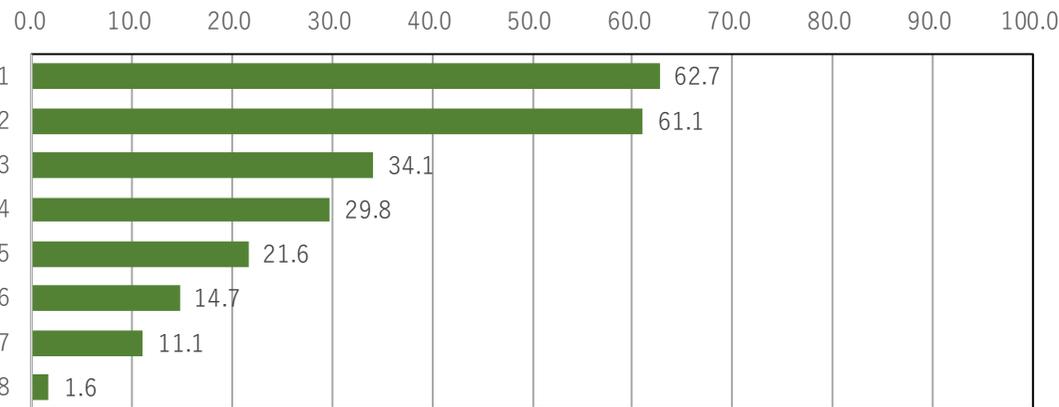
【とちぎの元気な森づくり県民税で特に重要と思う取組】

栃木県では、「とちぎの元気な森づくり県民税」を活用して、本県の森林を元気な姿で将来へ引き継いでいくための様々な取組を行っています。

「とちぎの元気な森づくり県民税」の取組の中で、あなたが特に重要だと思うものはどれですか。次の中から3つまで選んでください。

[n=1,492]

	R 7 %	(R 6)
1 高齢化した森林の若返りを進めるため、皆伐後の植栽や下草刈り、シカによる苗木の被害など獣害対策への支援をすること	62.7	(59.2)
2 通学路等の見通しを良くしたり、イノシシなどの野生獣を人里に近付けないようにするため、身近な里山林の整備を支援すること	61.1	(59.0)
3 所有者や境界が不明な森林を適正に管理していく仕組みをつくること	34.1	(31.5)
4 手入れのできない針葉樹林を管理の容易な広葉樹林へ転換していくこと	29.8	(29.5)
5 里山林で活動するボランティアの育成や、地域での森づくり活動等への支援をすること	21.6	(21.6)
6 森林の働きや「とちぎの元気な森づくり県民税」の取組を普及啓発すること	14.7	(13.0)
7 わからない	11.1	(13.4)
8 無回答	1.6	(1.6)



○ とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会委員名簿

(五十音順)

No.	氏名	所属
1	逢沢峰昭	宇都宮大学農学部 教授
2	飯田絵里	フリーライター/アトリエ・ビーンズ 代表
3	石川尚子	栃木県経済同友会/オリオンコンピュータ株式会社代表取締役
4	大貫剛久	栃木県林業振興協会 副会長
5	阪田和哉	宇都宮大学地域デザイン科学部 准教授
6	塚本竜也	NPO法人とちぎ環境未来基地 代表理事
7	友田希世	公募委員
8	豊島香折	株式会社けんちくや前長 二級建築士
9	深谷卓男	公認会計士・税理士
10	福島泰夫	那珂川町 町長(町村会) ※
11	八木澤統隆	株式会社ヤギサワ 代表取締役社長

(任期：令和6(2024)年6月1日～令和9(2027)年5月31日)

※令和7年11月5日退任



お問合せ先

栃木県環境森林部環境森林政策課

TEL : 028-623-3302

FAX : 028-623-3259

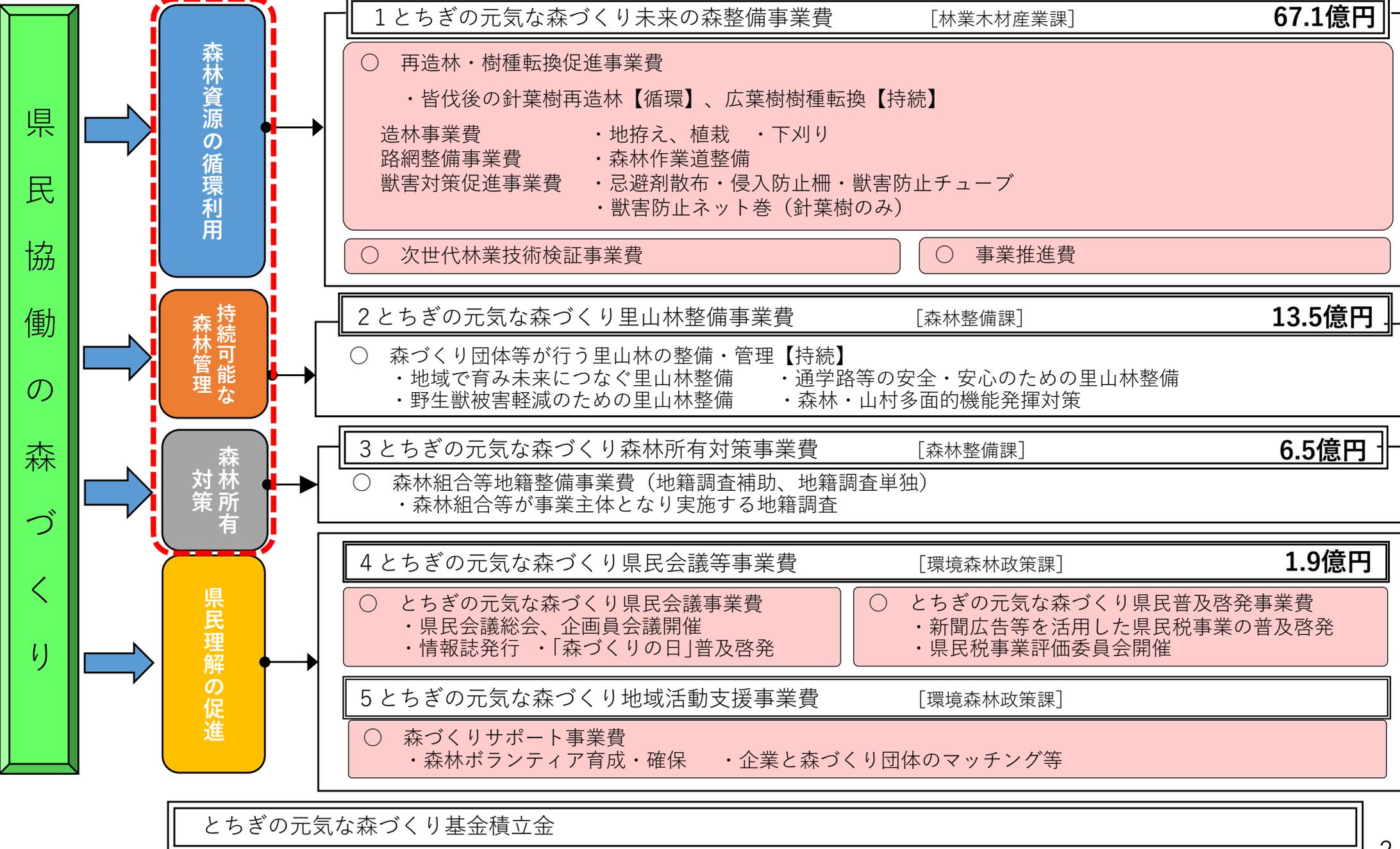
e-mail : kankyo-shinrin@pref.tochigi.lg.jp



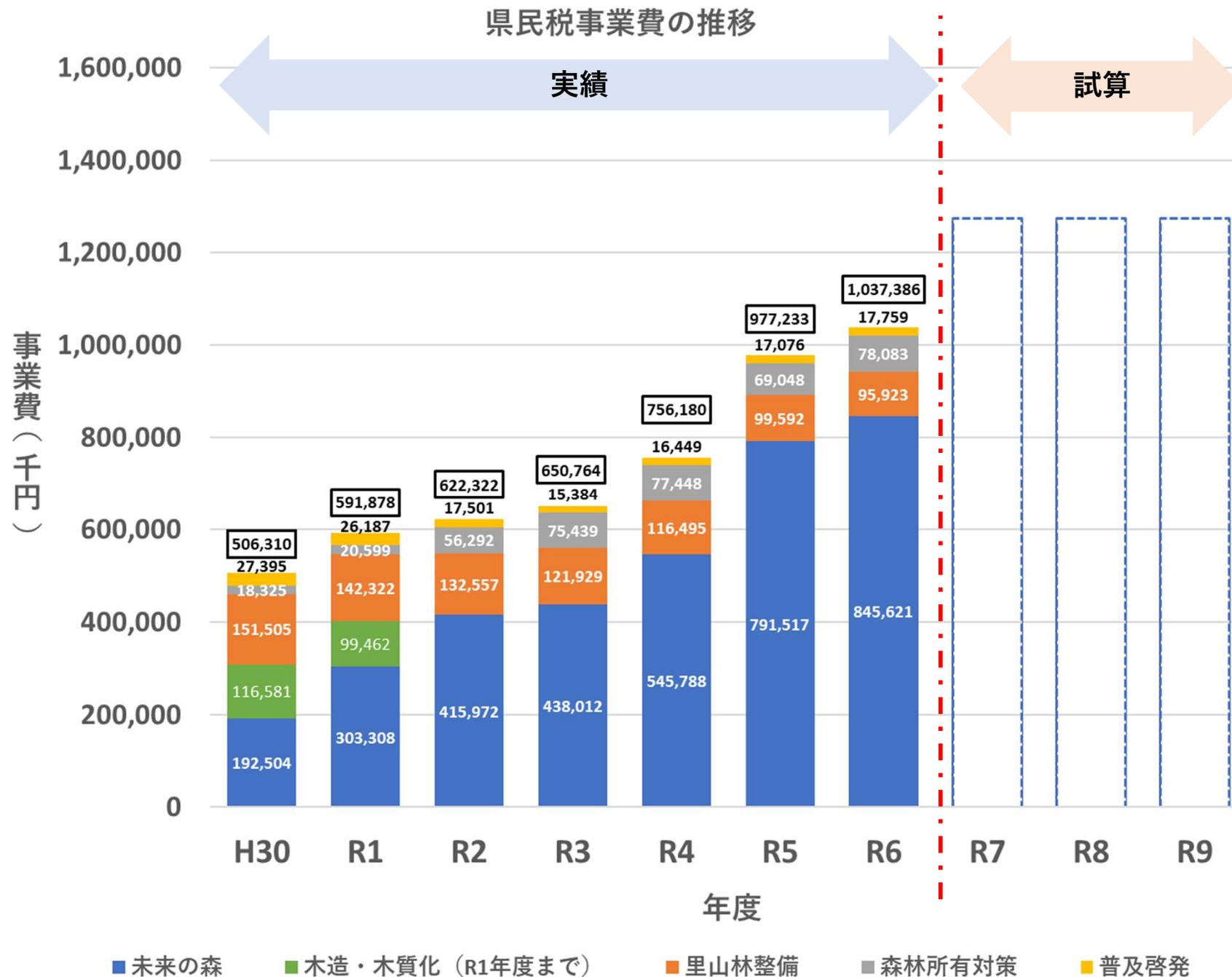
第2期とちぎの元気な森づくり県民税 (参考資料)

令和7(2025)年12月16日
栃木県環境森林部環境森林政策課

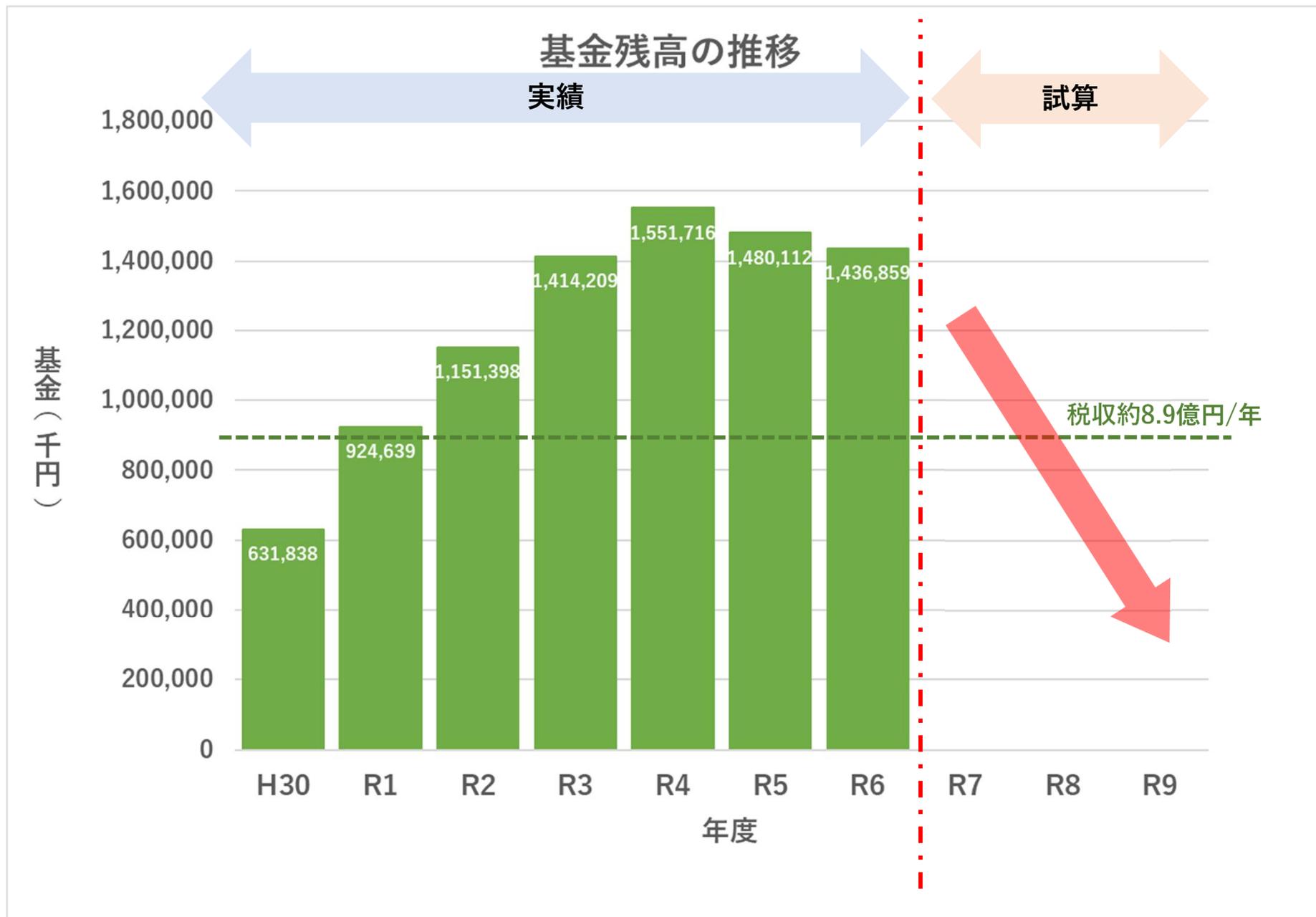
89億円/10年



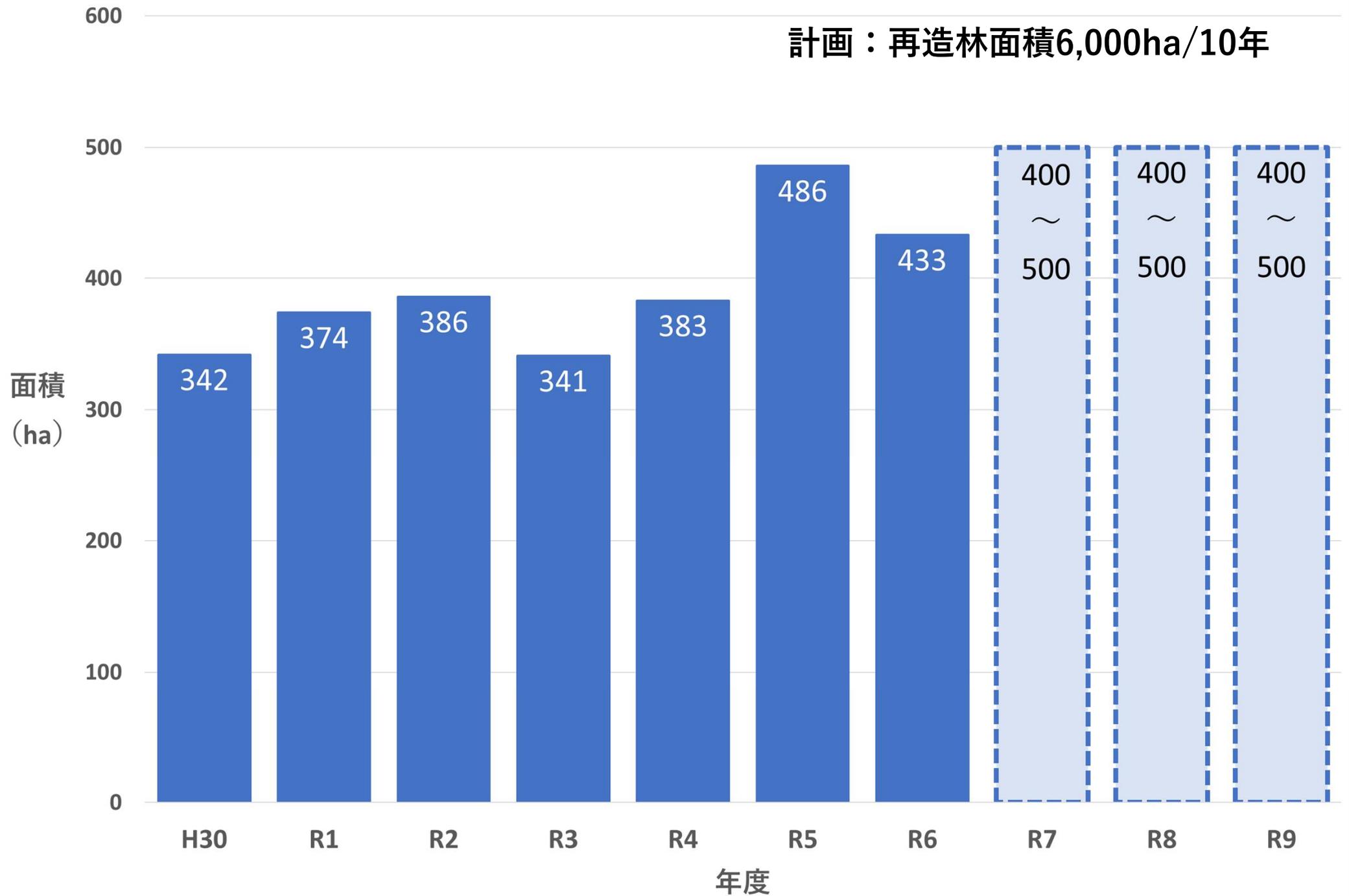
参考資料 とちぎの元気な森づくり県民税事業費の推移及び基金残高



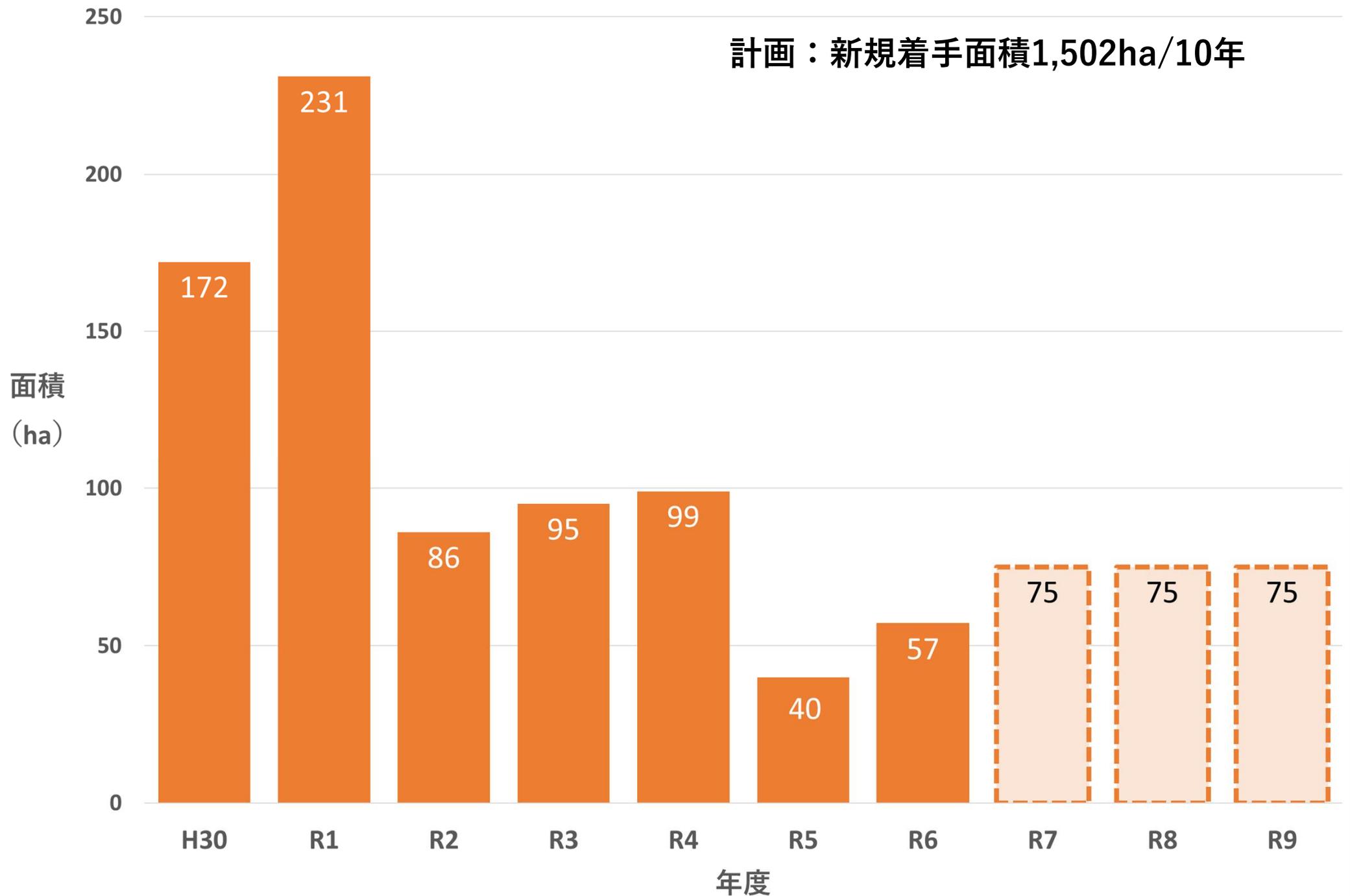
参考資料 とちぎの元気な森づくり県民税事業費の推移及び基金残高



参考資料 とちぎの元気な森づくり県民税事業の実績推移（未来の森）



参考資料 とちぎの元気な森づくり県民税事業の実績推移（里山林整備）



参考資料 とちぎの元気な森づくり県民税事業の実績推移（森林所有対策）

